われた.

エイズ患者で，かつ，カリニ肺炎を疑わせる呼吸器症状があるにもかかわらず，ガリウムがほとんど集積しない場合は免疫不全末期であり，予後不良例と考えられる.

15. ^{67}Ga シンチグラフィで指摘し得た筋サルコイドーシスの1例

西巻　博　石井　勝己　中沢　圭治
菅　信一　田所　克己　西山　正吾
小林　茂樹　依田　一重　松林　隆
(北里大・放)

今回われわれは，^{67}Ga シンチグラフィで右大腿に限局性の異常集積を認め，筋生検にてサルコイドーシスと診断された1例を経験したので報告する．症例は36歳の男性で，入院3か月前より高カルシウム血症が出現し，腎機能も低下したため本院入院となった.

皮膚に結節性紅斑が認められ，右大腿部に弾性硬の索状の腫瘤を触知した．胸部X-PではBHLはなく，両側肺野に軽度の間質影が認められた．MRIにおいて^{67}Gaシンチと同様に右大腿直筋に，限局して筋内に広がる病巣が描出され，同部の筋生検を施行し，腫瘤触知型筋サルコイドーシスと診断された.

16. Diethylstilbestrol による女性化乳房への ^{67}Ga 集積

小須田　茂　(都立駒込・放)
河原　俊司　石橋　章彦　田村　宏平
(国立大蔵・放)
斉藤　賢二　(同・泌)

前立腺癌に対してTUR施行後よりdiethylstilbestrol (DES, ホンバン) の投与をうけた16例に，転移巣検索のため^{67}Gaスキャンを行った．このうち，6例に両側乳房に対称性の^{67}Ga集積を認めた．5例にDESよる女性化乳房を有していた．^{67}Gaの乳房集積を認めた患者は，全例，DES投与開始より4か月以上経過しており，DES 18 g以上の投与をうけていた．DES誘発による女性化乳房への^{67}Ga集積はまれではない現象と思われる.

17. ^{99m}Tc MAA の体内埋込み型動脈カテーテル内注入による抗癌剤分布の予測

小泉　潔　内山　暁　遠山　敬司
荒木　力　(山梨医大・放)
角田　徹　三浦　和夫　松本　由朗
菅原　克彦　(同・一外)

最近肝腫瘍の動注化学療法に体内埋込み型drug delivery systemがよく使われるようになっており，その際に薬剤が腫瘍部に充分良好に達しているか否か評価されねばならない．この目的のために^{99m}Tc MAAをリザーバより注入し肝を各方向より撮像することにより，薬剤分布の予測が可能である．本検査法施行上の留意点として，注入はゆっくり行なうという点であり，また，限局性集積のみを示した場合には引き続き^{99m}Tc phytateを静注投与して肝コロイドシンチを行い，限局性集積部位の推定を行なう必要がある.

これまでにHCC 8例，肝転移8例に本検査法を施行しているが，限局性集積増加を示した例は5例，逆に低下を示した例は4例ありその他の例は比較的全肝に均一に分布した．限局性集積増加例は腫瘍の薬剤感受性もあいまって腫瘍縮少効果の著しい例が存在した．肝外集積を示した例は薬剤投与に際しても消化器症状を強く訴え，カテ抜去の指標になった.

18. 骨シンチグラムで肝脾の描出された一症例

富田　貴　平野　暁　桑鶴　良平
竹内　信良　長瀬　勝也　(順大・放)
伊藤　哲　斉藤　十一　高田　道夫
(同・婦人科)

40歳の女性，規則正しかった月経が不規則になったので，某病院を受診，卵巣嚢腫の診断をうけ手術目的で本院に入院．術後組織診断で卵巣癌と判明CAP療法を3週間隔で4クール施行，白血球減少，貧血著明となる.

貧血改善のためブルタール40 mgを隔日に静注を行った．静注を実施している期間中に卵巣癌の骨転移を検索のため^{99m}Tc-MDPによる骨シンチグラムを施行する．静注後3時間のシンチグラムで肝脾が描出された．種々の原因について究明したが，肝脾の描出はブルタールによるものと考えた.

Presented by Medical*Online